

騒音・危険・資産価値低下

羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会 ニュース

2025 年 05 月 N0-28 代表世話人 橋 孝 TEL 044-287-7313 ・ 田辺一雄 TEL 044-333-7833

橋本勝雄 E-mail : Katsuo.hashimoto@gmail.com

--- 安心・安全な町づくりを ---

南風の日が多くなり、川崎石油コンビナート上空をひんぱんに飛んでいます。夏に向かって「危ない・うるさい」日々がつづきます。みなさん、力を合わせて政治を変え、「命が守られ、安全な環境の下で生活できる」地域にしましょう。5年前までの「海から入って海に出る」東京湾海上ルートに戻させましょう。

国土交通省は、羽田空港の新飛行ルート下の川崎区や東京都の区域に、リーフレット「羽田空港のこれから・2025 年 冬号」を全戸に配布しました。安全を強調していますが、新飛行ルートによる住民の健康と生活環境への影響があり、石油コンビナート上空で航空機事故が発生した場合、約 27 万人が避難を必要とする可能性があります。

国交省の固定化回避 2024 年 12 月 24 日、2 年 4 か月ぶりに固定化回避検討会が開かれ、RNP-AR 方式という技術を使えば一部ルートを見直し騒音低減の実現可能性を示した。下図は国交省資料をもとに「区民の会」が作成

川崎市の皆さまへ 羽田空港のこれから 2025年冬号

日頃より、羽田空港の機能強化に伴う、新飛行経路の運用にご協力いただきありがとうございます。このチラシでは、発着回数の現状や、2023年度の運用実績を基にした騒音の状況などをはじめ、新飛行経路に関する様々な情報をお知らせします。今後も引き続き、ホームページやニュースレターなども活用し、丁寧でわかりやすい情報提供を行ってまいります。

国土交通省

お知らせ 第6回「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」を開催し、同時運用に係る安全性検証の結果等を報告しました。

「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」において、新飛行経路の固定化を回避するための技術的方策を検討しています。第4回検討会で選定された飛行方式（下記①・②）について、航空機が2本の滑走路に同時に着陸（同時運用）することができるかどうか、安全面から検証を行いました。

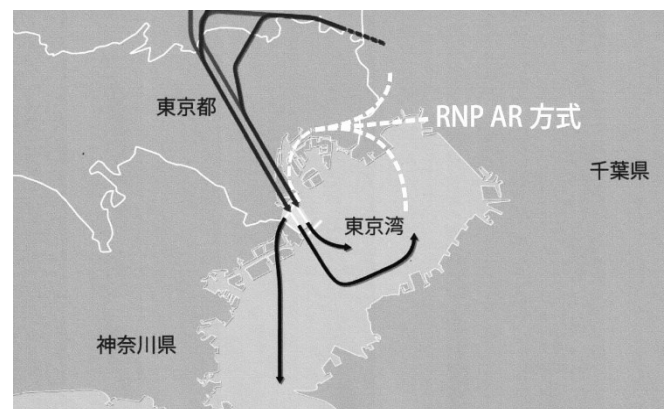
① 減速高度（GPS）からの高度を元に自機の位置を把握しながら計算して飛行する方式

② 減速高度（GPS）を使用した経路を飛行の目安、ウェイポイントを参考にして自律により進入する方式

羽田空港での同時運用

C滑走路 A滑走路

第 6 回固定化回避検討会の結果を分析して国交省に確認すると、実現可能性があるとしても 10 年から 20 年後、しかもその際に見直される検討ルートは C 滑走路のみ、A 滑走路は現時点では今のままとのこと。本気で解決を目指しているようにはとても見えません。川崎区上空ルートは固定化回避の検討課題に盛り込まれていません。



国交省の経済効果 羽田空港は、機能強化により、日本と世界をつなぎ、海外からの観光やビジネスなどで訪問する人々が増えました。その波及効果により、日本全国を活性化することが期待されています。

外国との結びつきは重要ですが、本当に日本の経済や社会の発展につながるのでしょうか？ 政府は、地方の経済を活性化するため東京一極集中をやめ、国際線が就航する地方空港を増やしてきました。（26 空港）ところが、「新飛行ルート」で 180 度方針転換したのです。日本全体が、地域格差をなくし、等しく豊かな社会をめざすのであれば、「新飛行ルート」は直ちに止めるべきではないでしょうか。

国交省が取り組んだ騒音対策は 新飛行経路の運用時間の限定（15:00～17:00）。騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式により高度約 180m に達した後、速やかに海側へ旋回する。

国交省の騒音対策により大型機で 3.2db、小型機で 1.3db 低下していますが、約 2% 前後にすぎません。騒音値が、ほぼ 80db（デシベル）を超えています。離陸のとき燃料を満タンにして飛ぶので騒音が非

仕事の都合で睡眠をとっている人もいます。さらに、航空の専門家は、「飛行時間帯がなし崩し的に拡大されていくのは火を見るより明らか」、とも言っています。(下図:騒音測定結果 / 測定地点:国立医療品食品衛生研究所 国土交通省 2024 年 12 月)

実際には、年間羽田空港でも 382 件～530 件ぐらい落下物があります。落下物を発見できていないだけです。国交省は主要な空港とその周辺の落下物発生件数をすべて明らかにするべきです。そうすれば実態が分かり、そのデータが明らかになれば、都心上

羽田空港及び国内空港の部品欠落件数 (宮本徹議員に国交省が回答)		
	羽田空港で発見された件数	国内空港で発見された総数
2019年度	382	928
2020年度	468	1005
2021年度	530	1064
2022年度	418	992
2024年度	580	692



7月26日(土) 14時～15時